

令和五年度採用 小学校専門

志願種別	
受験番号	

次の文章を読んで、後の【一】と【二】の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【一】 本文中の「ア」～「エ」に入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | では | イ | すると | ウ | つまり | エ | でも |
| ② | ア | だが | イ | だから | ウ | むしろ | エ | しかも |
| ③ | ア | では | イ | すると | ウ | つまり | エ | しかも |
| ④ | ア | では | イ | すると | ウ | むしろ | エ | でも |
| ⑤ | ア | だが | イ | だから | ウ | つまり | エ | でも |

【二】 次のア～オについて、本文に書かれている内容の組合せとして適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。

ア 犬や猫は、人間と違う怒りの感情があり、大きな声を出したり、大げさな振る舞いをして相手を威嚇しようとしたりすることがある。

イ 怒りは何かを守るための感情であり、自分の大切なものを攻撃されたと思うことに対して、それらを守ろうとする「防衛感情」とも呼ばれている。

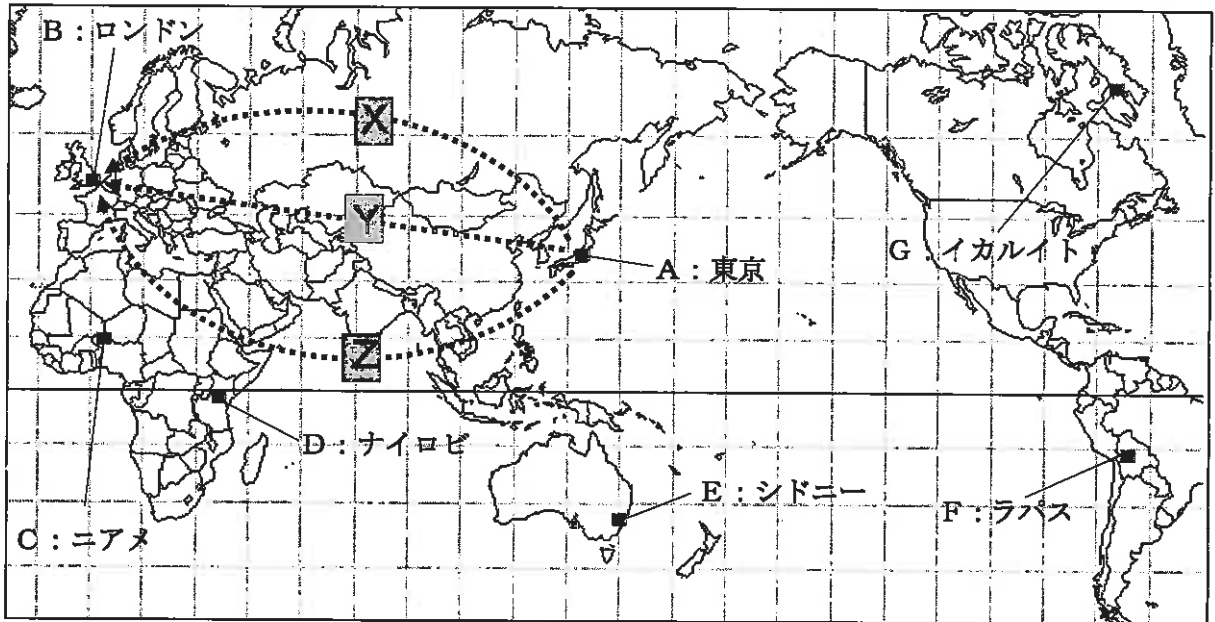
ウ 怒りは、先制攻撃で誰かを攻撃しているのではなく、相手から自分の大切なものを守ろうとする感情であり、それが正義感である。

エ 世の中には正しいことや間違ったことが渾然一体となっており、清廉潔白だけを求めていると、相手に先制攻撃をしてしまう。

オ 正義感の強い人は、現実社会で間違っていることや正しくないことについていちいちひっかかり、守りたいことの多い人である。

- ① ア・イ ② ア・ウ ③ イ・オ ④ ウ・エ ⑤ エ・オ

【13】 次の地図は、世界の主な都市の位置等を示したものである。ア～エの各文のうち、正しいものを「正」、誤っているものを「誤」とした場合、正しい組合せはどれか。下の①～⑤の中から一つ選べ。



(CraftMAP All Rights Reserved)

ア AからBまで飛行機で移動することを想定したX～Zの経路のうち、最短距離はXである。

イ CとGについて、Aとの時差がより大きいのはGである。

ウ CとFについて、年平均気温（1981年から2010年までの平均値）がより高いのはCである。

エ DとEについて、より高緯度にあるのはDである。

	ア	イ	ウ	エ
①	正	正	正	誤
②	誤	正	誤	正
③	誤	誤	誤	正
④	正	誤	誤	正
⑤	正	誤	正	誤

【14】 日本の選挙制度について述べたア～エの文のうち、下線部が正しいものを「正」、誤っているものを「誤」とした場合、正しい組合せはどれか。下の①～⑤の中から一つ選べ。

年	日本の主な出来事
1890	第一回帝国議会が開かれる・・・ア
1919	原敬内閣が選挙法を改正する・・・イ
1924	第二次護憲運動が起こる・・・ウ
1945	衆議院議員選挙法が改正される・・・エ

ア 帝国議会は貴族院と衆議院の二院制で、貴族院は皇族を除く議員の過半数が華族の当主とされた。衆議院議員は直接国税 15 円以上をおさめる満 25 歳以上の男性が選挙権を与えられたが、それは全人口の 1.1%程度であった。

イ 普通選挙運動や労働・社会運動の過熱から革命が日本に波及することを恐れた原首相は、普通選挙は時期尚早であるとして、有権者の納税資格を 10 円から 5 円に引き下げるにとどめた。

ウ 加藤高明内閣は 1925 (大正 14) 年に普通選挙法 (衆議院議員選挙法改正) を制定し、軍人など一部を除く満 25 歳以上の男性は納税資格に関係なく選挙権を与えられた。

エ 1945 (昭和 20) 年 12 月には衆議院議員選挙法が改正され、満 20 歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。 1946 (昭和 21) 年におこなわれた戦後初の衆議院議員選挙では、39 人の女性議員が当選した。

	ア	イ	ウ	エ
①	正	正	正	誤
②	誤	正	誤	正
③	誤	誤	誤	正
④	正	誤	誤	誤
⑤	正	誤	正	正

【15】 多角形の対角線が 44 本するとき、その多角形は何角形か、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 九角形 ② 十角形 ③ 十一角形 ④ 十二角形 ⑤ 十三角形

【16】 直角三角形 ABC で、AB は BC より 8 cm 長く、BC は CA より 7 cm 短くなっている。

このとき、斜辺の長さを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

① 12 cm

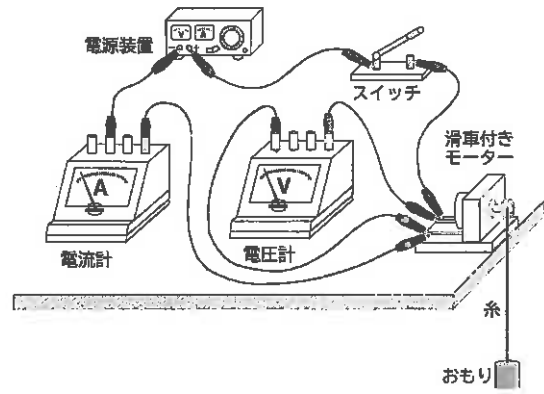
② 13 cm

③ 15 cm

④ 17 cm

⑤ 19 cm

【17】 滑車付きモーターを机の端に固定し、電源装置、電流計、電圧計を用いて右図のような回路をつくり、モーターの軸におもりを糸で取り付けた。スイッチを入れてモーターを回転させ、おもりを100cm持ち上げるのにかかる時間と、このときの電流、電圧の大きさを測定すると、次の表のような結果を得た。



この実験において、消費した電気エネルギーがおもりの位置エネルギーに変換された割合（変換効率）は何%か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。ただし、糸の重さは考えないものとする。

電流[mA]	電圧[V]	おもりの重さ[N]	おもりの移動距離[cm]	持ち上げるのにかかった時間[s]
400	5.0	2.0	100	12.5

- ① 1.0%
- ② 8.0%
- ③ 10%
- ④ 13%
- ⑤ 80%

【18】 銅，マグネシウム，亜鉛の陽イオンのうすい水溶液と，それぞれの金属片の反応から，3種類の金属のイオンへのなりやすさを調べる実験を行い，表のような結果を得た。

うすい水溶液	入れた金属片	変化のようす
硫酸銅水溶液	マグネシウム	水溶液の青色がうすくなり，金属の表面に赤色の固体が付着した。
硫酸銅水溶液	亜鉛	水溶液の青色がうすくなり，金属の表面に赤色の固体が付着した。
硫酸マグネシウム水溶液	銅	反応しなかった。
硫酸マグネシウム水溶液	亜鉛	反応しなかった。
硫酸亜鉛水溶液	銅	反応しなかった。
硫酸亜鉛水溶液	マグネシウム	金属の表面に灰色の固体が付着した。

この3種類の金属を，陽イオンへのなりやすさの順に並べたものを，次の①～⑤の中から一つ選べ。

	なりやすい		→	なりにくい	
①	マグネシウム	亜鉛		銅	
②	亜鉛	銅		マグネシウム	
③	銅	マグネシウム		亜鉛	
④	マグネシウム	銅		亜鉛	
⑤	銅	亜鉛		マグネシウム	

【19】 次の楽譜はある楽曲の旋律の一部である。このハ長調の旋律に合うア～ウに当てはまる和音の組合せを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

※ 出典：教育芸術社「小学生の音楽5」

	ア	イ	ウ
①	4度の和音	1度の和音	5度の和音
②	1度の和音	4度の和音	1度の和音
③	4度の和音	5度の和音	4度の和音
④	1度の和音	4度の和音	5度の和音
⑤	4度の和音	1度の和音	1度の和音

【20】 下の文章は、「小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容 A 表現」に示されているものである。文中の空欄（a）～（d）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

① 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア （ a ）活動を通して、（ b ）などの特徴を基に（ c ）な活動を思い付くことや、構成したり（ d ）を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

- | | | | | |
|---|--------------|------------|-------|---------|
| ① | a 造形遊びをする | b 材料や場所、空間 | c 造形的 | d 周囲の様子 |
| ② | a 絵や立体、工作に表す | b 形や色、材料 | c 創造的 | d 周囲の様子 |
| ③ | a 造形遊びをする | b 材料や場所、空間 | c 創造的 | d 周囲の様子 |
| ④ | a 絵や立体、工作に表す | b 材料や場所、空間 | c 造形的 | d バランス |
| ⑤ | a 造形遊びをする | b 形や色、材料 | c 創造的 | d バランス |

【21】 次の文章は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編（平成29年7月文部科学省） 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 3 内容の取扱い」の記載内容の一部である。(a)～(e) に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

(1)は、「A体づくり運動」の「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動」について、(a)で指導することを示したものである。また、「体づくり運動」以外の領域については、(b)で指導することもできることを示したものである。

(2)は、「C走・跳の運動」について、児童の実態に応じて(c)を加えて指導することができることを示したものである。

(中略)

(4)は、「F表現運動」について、「(d)」を学校や地域の実態に応じて加えて指導することができることを示したものである。

(中略)

(8)は、保健領域の「健康な生活と運動」及び「体の発育・発達と適切な運動」について学習したことを、運動領域の各領域において関係付けて学習することによって、児童が運動と健康が密接に関連していることに考えをもてるよう指導することを示したものである。特に、保健領域の「体の発育・発達」については、児童が「運動については、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されること」の知識を習得したことを、運動領域の「A体づくり運動」の「(e)」を通じて行うなど、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう配慮することが大切である。

- ① a いずれかの学年 b それぞれの学年 c 投の運動
d フォークダンス e 跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動
- ② a いずれかの学年 b それぞれの学年 c 投の運動遊び
d リズムダンス e 登る、下りるなどの動きで構成される運動
- ③ a それぞれの学年 b いずれかの学年 c 投の運動
d リズムダンス e 跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動
- ④ a それぞれの学年 b いずれかの学年 c 投の運動
d フォークダンス e 跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動
- ⑤ a いずれかの学年 b それぞれの学年 c 投の運動遊び
d フォークダンス e 登る、下りるなどの動きで構成される運動

- 【22】 次の文章は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編（平成29年7月 文部科学省）第3章 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。（a）～（d）に当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

家庭科の特質に応じた「主体的な学び」とは、題材を通して（ a ）をもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に粘り強く取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付け、主体的に取り組んだりする態度を育む学びである。そのため、学習した内容を（ b ）で生かす場面を設定し、自分の生活が（ c ）と深く関わっていることを認識したり、（ d ）を自覚して実践する喜びに気付いたりすることができる活動などを充実させることが重要である。

	a	b	c	d
①	目標	実際の生活	家庭や地域	技能の向上
②	見通し	実際の生活	社会	技能の向上
③	目標	次の学習	家庭や地域	自分の成長
④	見通し	次の学習	社会	技能の向上
⑤	見通し	実際の生活	家庭や地域	自分の成長

【23】 これから読む英文は、アンジーとコーディの対話である。述べられている内容と一致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。なお、放送は全体を通して2回行う。

- ① Cody goes to the library with Angie.
- ② Cody is so tired from school and homework that he doesn't do any chores.
- ③ Cody cleans his room, takes out the trash and sets the table at dinnertime.
- ④ Angie's family has a robot cleaner, and it can cook too.
- ⑤ Angie's father rarely cooks at home.

【24】 次の文は、「小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容」の一部である。（A）～（D）の中に当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から一つ選べ。

(1) (省略)

[思考力, 判断力, 表現力等]

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、(A)などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

イ 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、(B)を意識しながら書いたりすること。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動を通して指導する。

ア 聞くこと

(ア) 自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。

(イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、(C)情報を聞き取る活動。

(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、(D)情報を得る活動。

- | | | | | |
|---|------|------|--------|--------|
| ① | A 状況 | B 語順 | C 具体的な | D 必要な |
| ② | A 状況 | B 語順 | C 正確な | D 大まかな |
| ③ | A 状況 | B 相手 | C 具体的な | D 大まかな |
| ④ | A 条件 | B 語順 | C 正確な | D 必要な |
| ⑤ | A 条件 | B 相手 | C 具体的な | D 必要な |

- 【25】 次の文章は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編（平成29年7月 文部科学省）第2章 道徳教育の目標 第2節 道徳科の目標 2 道徳性を養うために行う道徳科における学習」に関する記述の一部である。ア～エに当てはまる言葉の組合せとして正しいものを下記の①～⑤の中から一つ選べ。

道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるものである。学校教育においては、これらのうちアを考慮して、児童一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを内容項目として取り上げている。児童が今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じてイを考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義及びその大切さの理解が必要になる。

一つは、内容項目を、人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解することである。二つは、道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができないウなども理解することである。三つは、道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということをも前提として理解することである。道徳的価値がエを表すものであることに気付き、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深めていくようにする。

- | | | | |
|---|----------------------|-----------|-------------|
| ① | ア 発達の段階
エ 人間らしさ | イ よりよい解決策 | ウ 道徳的実践の難しさ |
| ② | ア 社会性の広がり
エ 個性 | イ 自己の生き方 | ウ 道徳的実践の難しさ |
| ③ | ア 発達の段階
エ 個性 | イ よりよい解決策 | ウ 人間の弱さ |
| ④ | ア 発達の段階
エ 人間らしさ | イ 自己の生き方 | ウ 人間の弱さ |
| ⑤ | ア 社会性の広がり
エ 人間らしさ | イ よりよい解決策 | ウ 人間の弱さ |

令和5年度採用 解答表 (小学校)

問題	【11】	【12】	【13】	【14】	【15】	【16】	【17】
正解	④	③	①	⑤	③	②	②

問題	【18】	【19】	【20】	【21】	【22】	【23】	【24】
正解	①	①	①	④	⑤	③	①

問題	【25】
正解	④